

春夏秋冬



武蔵野会ニュース No. 161 平成28年4月15日
発行 社会福祉法人 武蔵野会
本部 東京都八王子市台町1-19-3 TEL042(623)8509
<http://www.musashinokai.jp/>

特集 平成28年度事業計画(抜粋)



カメラアマゾン
(大島恵の園)

トーク アール・ブリュット

アール・ブリュット(art brut)とは、フランス語で「生(き)の芸術」という意味で、作者の心の中のことからストリートに表現された絵画やその他の造形等の芸術を指す言葉のようです。

模倣とかありきたりとかでなく、魂の叫びのようなものがそのままに多彩な手法で表現されていて、観る者に新鮮な感動や衝撃を与えるこのような作品の多くは、障害を持つ方たちによって生み出されています。実際、かつての「裸の大将・山下清画伯」の貼り絵のような根気強い作業を要したり、常識にとられない独特の表現などは、障害を持つ方たちならではのものと言えます。

本号の6頁にも特集していますが、武蔵野会施設の利用者の方たちの創作活動も活発で、特に最近では地域の多くの方たちにも観ていただけるよう、ART展を各地域の中で開催しています。また、「東京都障害者総合美術展」や八王子市心身障害者福祉センターが事務局を担う「八王子市障害者文化展」にも毎年出品しており、いずれアール・ブリュットの大作が身近なところから出現するかもしれません。

東京都では、2020年のオリンピック・パラリンピックに合わせて都内にアール・ブリュットの美術館を創る検討を昨年からはじめました。また、東京都社会福祉協議会の知的発達障害部会でも「障害当事者の文化・芸術活動の推進」が、身体表現や音楽活動なども含めた幅広い意味も込めて、来年度から検討されることとなりました。

高齢化や重度化が課題となっている中、利用者の方々の健康寿命を伸ばすためにも、創作活動の一環として、アール・ブリュットの活動は大きな意味があると考えています。

社会福祉法人武蔵野会理事長 上野 純宏

平成28年度 社会福祉法人武蔵野会 事業計画(抜粋)

社会福祉法の改正という、大きな転換期を迎える今年度は、主要部分の来年度の施行を前に、周到な準備が必要になります。準備は法人の組織、体制の変化が求められるだけでなく、社会問題への実践が求められています。武蔵野会はこれまで、様々な社会貢献をしてきましたが、今年度はそれを強化するとともに、更なる実践を加えていきます。その実践を可能にする人材育成や、老朽化による建替工事の集中に対応する資金計画の着実な実行等を中心に平成28年度の事業計画をたてました。

事業方針

少子、高齢化が加速する中、本来なら家族、地域、雇用関係(会社組織)での助け合いや協力がより必要になるはずの社会が、効率化や競争化を背景に、互助機能の低下、貧富の差の拡大、雇用の不均等などにより、家族も個人でも社会的な孤立化が進み、子どもの貧困、成人の引きこもり、ワーキングプア、高齢者の孤独死、ゴミ屋敷など、様々な社会問題が露呈してきて久しい。このような状況下で、社会福祉法人は、内部留保や役員や職員の不祥事等を取り上げられて、近年、その存在価値を問われてきた。社会福祉法の改正は、非営利法人としての社会福祉

法人の透明性、公益性、法令遵守を求めると同時に、前述の社会問題への対応について着手できる存在として期待される。厚生労働省の「新たな福祉サービスのシステム等のあり方検討プロジェクトチーム」が昨年9月に示した新たな時代に対応した福祉の提供ビジョンでも、社会問題に対応する新しい地域包括支援体制の構築が挙げられ、これまでの高齢、障害、児童に分かれた支援体制ではなく、生活困窮や触法、病気等も含んだ複合的な問題に対応するトータルでワンストップの相談機能と総合的な福祉支援機能のネットワーク化の必要性が示された。

今年度の法人運営の大きな課題の一つは、社会福祉法の改正への対応である。理事会と評議員の権

限の変更だけでなく、組織のあり方も大きく変わる。改正に的確に対応するために、年度当初から、定款の変更、役員、評議員の選任、会計監査人の検討等についての準備を始め、理事会、評議員会に諮りながら計画的に進める。義務化される地域公益活動については、これまでの厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「日IV長期療養者の福祉施設の受け入れ課題の研究」、触法障害者の地域定着支援、法人成年後見の推進、東北大地震被災地への毎月1回の支援等の視野を広げ、社会福祉法人の役割を積極的に果たしていく。また新たに、5月を目標に始まる東京都社会福祉協議会の「はたらくサポートとうきょう」(はたらくたいけれど、はたらきにくい人への支援、中間的な就労の場の提供)事業に法人事業所が揃って登録する。また、「罪を犯した障害者等の支援者ネットワーク」で中心的な役割を果たしていく。

これらの活動を行うため、ソーシャルワークのスキルを備えた職員の育成を進める。ダイアログ研修で理念を共有し、役割による研修プロジェクト等とおした次期10年を支える職員の育成に加えて、役職には自ら目標を決め、成果を生かす体験型の研修を行い、施設や法人の新たな取り組みを生み出す力を養成する。

新人の採用については、特に入

所施設の職員不足の解消のため、今年度は、福祉学部にかかわらず対象の大学を広げ、高校卒や中高年の中途採用も視野に入れる。併せてリーダー職員などによる法人説明会や役職を中心とした内定者研修を計画し、学生がより興味を持ちやすい採用計画とする。

また、魅力ある研修での職員の意欲向上や「働きやすい職場づくり」として、職場風土の向上を意識し、昨年度発足した子育て支援制度委員会の検討結果の逐次実現や、メンタルヘルス(ストレスチェック、健康ダイヤル)などにも力を入れる。

理念経営については、理念研修による理念の理解と周知を進め、支援実践集の作成や実践事例報告会、ダイアログ研修を継続することで、利用者支援の質の向上に反映させていく。利用者の高齢化、重度化、重複化に加え、強度行動障害や発達障害などに、法人内の施設の特徴を生かした連携、また、地域での多職種が連携しながら、24時間365日の支援を実現する。今年度の専門研修には強度行動障害と認知症ケアを取り上げ強化する。

ここ数年、継続する法人の経営課題は、「財務基盤の安定」である。現在、建て替えに着手している施設が3施設ある。更に今年度に計画がスタートする八王子の生活介護施設、練馬のグループホームがある。昨年度示した資金計画

に添って、着実に執行していく。防災関係では、各事業所でのBCP(事業継続計画)に対応した定期的な訓練に加え、日本福祉大学の提携法人で行うBCP防災研修を行う。避難所設営や図上訓練を取り入れた研修を実施し、全国の提携法人との防災ネットワークの構築を進め、当法人の事業所が災害時の地域の防災拠点となるように意識を高める。また、安否確認システムの導入がほぼ終了した。防災ネットワークが今年度から、具体的な防災、減災の協力体制の構築のために動き出すため、法人のBCPの強化に繋げる。

事業計画

(法人3か年計画の2年目の計画に添って、以下のように実施する)

(1) サービスの質の向上

(信頼と安心のサービス)

- ① 理念に基づいた支援体制の確立・支援介護基本ブックの継続的な活用。マイ支援ブックの全員の完成。実践集や事例報告会での実践の記録と報告による理念実践の確認
- ② 権利擁護・人権研修の継続。虐待防止対策の継続、触法障害者等生きづらさを抱えた人への積極的関与。生活困窮者への中間的就労の提供などの対応。子どもの貧困への対応

- ③ 施設運営・職員育成計画の充実(スーパービジョンの徹底、P D C A進捗管理の実施、施設長チェックマニュアルの活用。人事システムの本格的な始動)
- ④ サービスの標準化・各マニユアルの見直しと策定。標準化のための適切な人事配置と役割付与
- ⑤ 業務評価と業務改善・東京都福祉サービス第三者評価の継続受審。指摘の減と的確な改善。各施設の支援状況や環境の相互確認方法の検討。(法人内での支援の相互確認体制)
- ⑥ リスク・マネージメント体制の強化・施設長のリーダーシップの強化。苦情解決事例集、気づきメモ、シエル分析、虐待防止プログラムを活用し様々な事故の防止に繋げる。BCP(事業継続計画)に基づく日常的訓練の実施と計画の見直し
- ⑦ 情報提供と開示・保護・個人情報保護規程の周知と対策の実施特にマイナンバー制度への的確な対応、ホームページの充実と定期的更新
- ⑧ 利用者満足とQOLの向上・理念研修の実施、東京都福祉サービス第三者評価の分析と改善の徹底、発達障害など支援が難しい利用者に対する支援者の共通理解と対策、家族支援の方法、医療的ケア体制等、地域資源を活用した多職種連携体制の構築
- ⑨ 利用者の生活環境の整備・児童

むさしの 武蔵野

違いを受け 入れるとは

今年1月、私は法人が共催する「社会福祉従事者の感染症対策研修会」に参加しました。最初に都立駒込病院の今村医師から、HIV/エイズを含む様々な感染症について基本的な知識が紹介されました。

ここでは、感染症について知られている知識がごく一部で、誤解が多いことを学びました。特にHIV/エイズは、かつての「不治の病」「怖い病気」のイメージが未だに根強く残っています。

実際には、1967年からHAART(Highly Active Antiretroviral Therapy:多剤併用療法)という治療技術が開発され、薬で「免疫不全による病気の発症」を抑えて、長く生きられるようになったのです。最近では、1日1回の内服で済む新しい薬が開発されたり、1回に飲む錠剤の数が減ったり、薬の副作用も軽くなり、HIV陽性の人もごく普通の生活ができるようになっていきます。

しかし、こうしたHIV/エイズ治療の現状は、まだまだ知られていません。感染のリスクはB型・C型肝炎と同様で非常に低いのに、医療機関や福祉施設でさえHIV陽性の人の受入れを拒絶あるいは敬遠する事例があるほどです。そ

のためにHIV陽性の本人も、家族や職場に事実を伝えられず、一人で悶々と苦しんでいる人が少なくないのです。武蔵野会がHIV研修を推進しているのは、こうした偏見と差別を乗り越えるために大きな意義があると思います。

研修会の後半では、HIV陽性の当事者の話を聞きました。HIVの問題だけでなく、ゲイという社会的少数者として周囲から偏見で見られてきた問題が重なっていることがわかりました。聞きながら、私自身も「エイズ＝同性愛者の病気」と呼ばれていた時代からの偏見(異性愛者の自分には関係ない＝無関心という差別意識)に影響されていたことを意識しました。

今回私は、当事者本人から直接お話を聞き、同性のパートナーの方との誕生日や旅行のアルバムなどを拝見しながら、性的指向性の違いはあっても、人間として生きる生活や心情には何の違いもないと感じました。

人は様々に違います。お互いの違いを受け入れるためには、正確な知識を学ぶと同時に、それぞれの人の話を聞くなど人間として関わるのが大切であり、それが共感や理解の出発点になるのではないか、と考えました。

練馬福祉園 施設長 我妻 弘

H28年度 武蔵野会法人研修計画

区分A	研修名称	開催日時	研修内容	テーマ	方法	対象	担当	会場	
理念経営	理念A	通年・地区	マイ支援アツクの完成と理念の語り			施設長・管理職	地区長・施設長・研修担当	各地区・施設	
	理念B	通年・地区	マイ支援アツクの完成と理念の語り			主任係長	地区長・施設長・研修担当	各地区・施設	
権利擁護	虐待防止研修	6月28日	虐待防止について			全職階・職種	練馬地区	えみふる	
	虐待防止フォローアップ	1月31日	虐待防止について			全職階・職種	練馬地区	えみふる	
経営課題研修	地域定着支援	6月25日	知的障害者の触法問題			全職階・職種	本部	各地区・施設	
	中間的就労支援	通年	中間的就労への取り組み			全職階・職種	本部	各地区・施設	
マネジメント研修	リーダーシップ&OJT A	1月	リーダーシップのセルフマネジメント			全職階・職種	本部	各地区・施設	
	リーダーシップ&OJT B	1月	リーダーシップのセルフマネジメント			全職階・職種	本部	各地区・施設	
	リーダーシップ&OJT C	1月	リーダーシップのセルフマネジメント			全職階・職種	本部	各地区・施設	
	リーダーシップ&OJT D	1月	リーダーシップのセルフマネジメント			全職階・職種	本部	各地区・施設	
人事制度	人事制度説明会	4-5月 1H	人事制度の手引き			新規・中途採用者	各地区・施設	手引き	
	新リーダー	4月	心構えと役割			OJT、声掛け	各地区・施設	各地区	
階層別研修	新任主任	6月7日・8日 1泊2日 1回 計30h 講義 & 通信課題	イノベーター養成 主任の心構えと役割 PDC管理とリーダーシップ			新任主任	運営委員	本部	
	新任係長	4月22日	係長の心構えと役割 部下指導と育成			新任係長	運営委員	本部	
	新任課長	4月26日	課長の心構えと役割 組織マネジメント			新任課長	本部・運営委員	本部	
	新任施設長	4月28日	施設長の心構えと役割 施設経営の基本			新任施設長	本部・運営委員	本部	
	施設長	4月20日 6月15日 8月24日 10月19日 12月21日 2月15日	施設経営マネジメント 触法障害者支援 中間的就労 生活困窮者支援 他			施設長	本部	小平 さくら 八王子	
	課長(新任課長)	通年	施設経営マネジメント 触法障害者支援 他			課長	本部	本部	
	係長(新任係長)	通年	施設経営マネジメント 触法障害者支援 他			係長	本部	本部	
	主任(新任主任)	通年	施設経営マネジメント 触法障害者支援 他			主任	本部	本部	
	リーダー	ハイポイントインタビュー	「経験の棚卸し」と伝達			リーダー	地区長・施設長	各地区・施設	
	一般職員研修A	ハイポイントインタビュー	「経験の棚卸し」と伝達			2年以上～5年			
	一般職員研修B	図書課題研修	非営利組織の経営	ドラッグ ダイアモンド社		6年以上～9年			
	一般職員研修C	図書課題研修	非営利組織の経営	ドラッグ ダイアモンド社		10年以上～19年			
	一般職員研修D	図書課題研修	非営利組織の経営	ドラッグ ダイアモンド社		20年以上			
	新任フォローアップ	期首(なし) 期中(9-11) 期末(3月)	振り返り	実践の振り返り 目標の設定		新任職員	HOST地区 地区長 各施設	HOST地区 各施設	研修シート
	新任内定者研修		法人の説明、福祉を目指す思いの醸成	KJ法など		採用内定者	研修プロジェクト		
新任大島宿泊研修	3月22-24日	組織理解 支援者の姿勢・態度	ガイダンス、理念、マナー等		新規採用職員	研修PT	大島	大島地区	
新任研修(中途採用)	5月31日	支援者の姿勢・態度 ぶりかえり	ガイダンス、理念、マナー等		新規採用職員 中途6か月以上	葛飾地区・研修PT	えみふる	該当者の有無確認	
ワールドカフェ・フシリテータ養成	ワールドカフェ・フシリテータ養成	通年 3回	ダイアログ研修・理念研修のフシリテータ			施設長他フシリテータ候補者	本部		
BCPマネジメント研修	BCPマネジメント研修	9月1日	提携法人提案事項対応			BCP推進担当者	御膳場・八王子	さくら学園	
	接遇マナーA	通年・地区 最低1回	接遇マナー			中途 新任	地区長・施設長	各地区・施設	
	接遇マナーB	通年・地区 最低1回	接遇マナー 事例検討			全職階・職種	地区長・施設長	各地区・施設	
	接遇マナーC	6月14日	接遇マナー養成					えみふる	
	リスクマネジメントA	通年・地区 最低1回	武蔵野会のリスクマネジメント	安全とリスクマネジメントシステム		新人・一般職員	地区長・施設長	各地区・施設	
	リスクマネジメントB	通年・地区 最低1回	AKTとリスク感性	リスク感性と報告書		一般職員	地区長・施設長	各地区・施設	
財務・会計	リスクマネジメントC	通年・地区 最低1回	事故分析手法	事故分析と改善手法 SHEL		施設長推薦	世田谷地区	九品仏生実	
	リスクマネジメントD	6月11日	クレーム対応	クレーム対応		施設長推薦	世田谷地区	九品仏生実	
	リスクマネジメントE	11月12日	RM養成	RM体制の構築 安全文化の醸成		施設長推薦	世田谷地区	九品仏生実	
	財務(通信)		自主生産品におけるコンプライアンス	品質管理 商品成分表示 関連法規		施設長推薦	世田谷地区	九品仏生実	
	財務(通信)		施設経営分析	施設経営分析		施設長	本部	本部	
	財務(通信)		経営指標による分析	労働分配率等の指標による改善		課長・係長	本部	本部	
栄養士・看護師・事務職	栄養士	11月22日	栄養士			栄養士	法人栄養士会	文京福祉センター	
	看護師	10月25日	施設看護師			看護師	練馬地区	練馬福祉センター	
	事務員研修会	12月6日	事務員			事務員	本部	本部	
職場環境向上研修	ストレスマネジメント		援助職のストレスマネジメント			全職階・職種	本部	外部機関による	
	セクハラ・パワハラ研修		セクハラ・パワハラ等の防止			各施設より委員	本部	外部機関による	
業務評価スキル研修	施設経営・サービス分析	通年	業務評価・分析			施設長	施設長ほか	本部	
	スーパービジョン研究	通年	法人マネジメントとSV体制の構築			施設長ほか	本部	本部	
	社会福祉施設におけるHIV陽性者の受入れ研究	通年	PT			施設長他	本部	厚労科研	
	触法障害者定着支援ネットワーク構築に関する研究	通年	PT			施設長他	本部	本部	
	フレーム対応事例集作成	通年	事例集作成	クレーム対応の事例集の作成			世田谷地区		
	研修体制構築プロジェクト	通年	法人研修体制の構築研究と提案				本部	本部	
調査・研究	支援実践報告	随時 年1回	支援実践報告				各地区	各地区・施設	
	支援実践集	2月提出	支援実践集				本部・葛飾地区		
	平成28年度の法人研修について								

⑧ 障害者・高齢者の累犯障害者の地域生活定着支援事業の各地区

⑨ 生活困窮者への地域生活定着支援事業の実施・法制化に基づく各市町村での事業の開始、東社協が開始する「はたらくサポーターとうきょう」への参加

⑩ 地域福祉ニーズへの対応・練馬区でのGH、八王子地区での生活介護、GH、ショートステイなど。葛飾区でのGH、各地区での地域包括ケアの実践

(2) 地域社会への貢献
(地域福祉の推進)

① 地域プラスワン事業の実施
② 施設プラスワン活動の実施
③ 福祉教育、人材育成・ボランティアの育成推進、実習生の受入の質と量を拡充、学校での福祉講師
④ 新規事業の量的整備・練馬区、八王子市、葛飾区、文京区
⑤ 日本福祉大学との連携強化継続・提携法人サミットへの参加、法人研修等への大学教授の招聘、武蔵野会役職の提携法人への訪問研修実施、提携法人間での防災ネットワークの具体的取り組みの実施、スーパービジョン研究センターへの関与と法人の新任役職へのスーパービジョンへの反映

① 研修システム体系化・人事システムの完全導入、産能大のコンサルによる研修プロジェクトの継続

② 人材育成方法の開発・理念研修の強化・地区研修の実施、地区実践事例報告会の継続と支援実践集の作成、役職の体験研修の導入

③ 研修カリキュラムの推進・施設長研修の定期的実施、次世代育成研修としてのダイアログ研修の継続

④ 実行性のある研修の仕組み構築

(3) 財務基盤の安定化
(自立健全経営の実現)

① 施設利用率95%以上達成
② 法人の資金計画に添って、建て替え建築資金を準備
③ 施設が地域福祉ニーズを把握し新規事業を積極的に実施し、支援の充実に伴い法人への繰入金を確保

(4) 人材育成
(学習と成長の組織へ)

① 研修システム体系化・人事システムの完全導入、産能大のコンサルによる研修プロジェクトの継続

② 人材育成方法の開発・理念研修の強化・地区研修の実施、地区実践事例報告会の継続と支援実践集の作成、役職の体験研修の導入

③ 研修カリキュラムの推進・施設長研修の定期的実施、次世代育成研修としてのダイアログ研修の継続

④ 実行性のある研修の仕組み構築

(5) 人事制度の再構築・法人の組織強化
① 次期10カ年計画の策定・若手職員によるPTの発足
② 法人経営モデルの確立・医療、教育と連携した多面的な支援の実現

・人材確保計画・大島、さくら学園、西水元あやめ園、練馬福祉園、リアン文京など、入所施設を中心とした採用困難施設、職種への特化した対応の継続(採用の年齢幅を広げる、採用地域の拡大)

・施設整備面の長期計画にそった確実な整備推進・平成40年度までの建て替え計画の進捗確認

② 本部機能の強化・本部の都心移転による人員増員と役割強化

③ 人事制度の見直し・人事考課制度の見直し及び人事システムの完全導入による個人情報データベースと管理の徹底

④ 働きやすい職場づくり・職場風土調査の全施設実施。現場のメソッドヘルス研修とうつ病などへの早期対応。職員の子育て支援制度チームの検討結果の実現(管理職の研修、規程の見直しなど) 武蔵野会健康ダイヤルの継続の再検討

⑤ 職員離職率3%以下を実現・理

(6) プロジェクトチーム、委員会計画
(プロジェクトチーム)

① 虐待防止関連強化(練馬地区)
② リスクマネジメント環境推進(世田谷地区)

③ 人材育成・研修(本部)
④ 相談センターとしての本部の役割の明確化

⑤ 一般社団法人「みんなの力」の支援(本部・各地区)

⑥ HIV長期療養者の福祉施設受け入れに関する調査研究の継続(本部・各施設役職)

⑦ 武蔵野会セミナーの推進(八王子地区) 武蔵野会人権セミナー(6月25日の実施)

⑧ 武蔵野会の次の10年計画構想プロジェクト

(委員会)
① 人事制度委員会
② 広報委員会 春夏秋冬発行

念による福祉実践を徹底し自己実現につなげる。防災事故を減らす。ハラスメント(セクハラ、パワハラ、モラハラ)の防止と職場風土調査による管理職の意識強化。むさしの生活倶楽部の利用促進、子育て支援等職員福利厚生強化

⑥ 異動要綱、昇任基準の再検討。資格取得の促進、キャリア研修の実施

ニユー ラウンジ

アール・ブリュット、アウトサイダー・アートなど、作者独自の表現による創作活動が広がっています。法人内各地区の活動を報告します。

第1回くすのきART展

東堀切くすのき園

1月23日(土)～25日(日)に、施設近隣の公共施設である堀切地区センターのロビーをお借りして「第1回くすのきART展」を開催しました。3日間で186名の方に足を運んでいただきました。



ダイナミックな絵に見入る来場者

利用者の方はすぐに自分の作品に近寄って嬉しそうに観ていた人もいて、ご家族の方からも喜びの声をいただきました。

地区センターを利用しに来た方が通りがかりに興味を持って来場されることが多く、利用者の方の独特な感性や繊細な作品作りに驚きと感動をもって鑑賞されていました。合同展示会で様々な作風の作品が集まったことで、老若男女を問わず、皆さんそれぞれ鑑賞を楽しまれていたようでした。

クローバーアート

世田谷地区

3月3日から5日まで、池尻小学校跡地に作られた「世田谷ものづくり学校」のギャラリーを借用して、利用者作品展「クローバー・アート」を初開催しました。これまで毎年、世田谷の四事業所の協働企画を四つ葉のクローバーに見立て、協力しながら盛り上げていこうというのがねらいです。利用者が日頃の活動で制作した絵画や手芸、陶芸作品等の販売もあり、3日間を通じて300人を超える方々にご来場いただき、充実した

展示会となりました。世田谷区内の芸術展として定着を目指していきたいと思えます。



賑わう会場

第2回HSSJ展

八王子生活実習所

第2回目のHSSJ展を、昨年の11月24日～28日に八王子市内のカフェ・ギャラリーMODESTEで実施しました。カフェ・ギャラリーには一部には陶芸家や金属を扱う作家の展示などもあり、コーヒーの香り漂う中に利用者作品が展示され落ち着いた雰囲気での展示会となりました。カフェの常連の方が陶芸作品を買ってくださるなど、利用者の作品を知って戴く、貴重な機会となりました。

施設整備状況の報告

武蔵野会の歴史のある施設は、建物の老朽化が課題になっていました。御殿場・八王子では補助金を戴き、建て替え工事が行われています。

さくら学園

さくら学園の管理棟および2寮3寮の建て替え工事は順調に進んでいます。今は建物の外観が見渡せるようになり、窓のサッシも入りました。建物の完成予想図と合わせて利用者さんは新しい自分だけの部屋を想像して、本当に楽しみにされています。秋には引越しが完了する予定です。

現在の2寮3寮は昭和45年から建物の、年数も45年経過しました。天井にパイプむき出しの食堂や各所の段差、階段一段の蹴り上げの高さなど、建物の老朽化だけでなく、高齢になった利用者さんが生活するには不便な建物になっていました。お風呂のボイラーも



箱根外輪山を背に建つ

故障続きで、あと半年何とか維持できるような祈るばかりです。今は、中に入る什器の選定や体制づくり、引越しの段取りに大忙しです。カーテンの色、椅子の色、フロアのネーミングなども決めていきますが、自治会の皆さんにも相談ののってもらい進めていきます。また、現在の建物を取り壊した跡地の活用も検討していきます。

武蔵野児童学園

武蔵野児童学園は、昭和38年10月に板橋区から現在の八王子市元八王子町に移転し、今年で53年目を迎えます。

古い建物は、築50年を超えるために老朽化も進み、耐震強度も保



現在の建物側からの外観

てないため、早急な改築が必要となりました。当初は移転先がなかなか決まらず、一度は、住み慣れた元八王子を離れなくてはならないかと覚悟をしましたが、子ども達の「離れたくない」という声を背に、様々な方々のご支援のおかげもあり、現学園の隣地への移転が無事に決まりました。

その後、昨年の8月には施設整備補助の内示があり、昨年12月から、待望の建設工事が始まっています。現在は基礎のコンクリート打ちも終わり、一階部分の床や壁、梁などのコンクリート工事が始まっています。学園の小学生と中学生は、工事現場の前を通り登校するので、どんな工事が進んでいるのを見るのが楽しみようです。

施設あれやこれや

八王子心身障害者福祉センター
当センターは、毎年延べ3万人近い多くの方にご利用いただいています。竣工以来35年が経過したことから、この度、八王子市によって、壁面塗装などの大規模改修が施工されました。皆さん、リニューアルした施設を見に来てください。

すぎな愛育園

3月末に卒業式で巣立ちのお友達を見送った一週間後、4月5日午前すぎな愛育園、午後さらにさらの入園式を行いました。オリジナル曲「ようこそ すぎなへ」の職員合唱で、新しいお友達と家族を歌と笑顔で迎えました。

第2大島恵の園

2月21日と28日の両日にわたり予定通り「会食レク」を開催しました。総勢52名のご家族が来園くださり、大きな鉄板を食堂に据えて提供した明日葉チャーハンや大島産の牛乳をふんだんに使用したプリンなどを堪能していただきました。

駒沢生活実習所

世田谷区が行う自主参加型一斉防災訓練「シェイクアウト訓練」に参加しました。室内では机の下にもぐる震災時の安全行動を、送迎バス内では一時停車と人員確認

の電話報告が行われました。約4分で全員の安全確認ができました。

大泉町福祉園

昨年引き続き、施設公開を近隣の施設と合同で開催の予定です。記念品の作成や、地域へのお知らせ配布に、利用者の皆さんにも参加していただき、楽しい地域活動になっています。今年も新たに、介助体験講習会を近隣の方に声をかけて開催いたします。

九品仏生活実習所

4月22日(金)に九品仏生活実習所・中町分場の新入所者歓迎会を行います。大勢の人がホールに集い、新入所者4名を大きな拍手と暖かい雰囲気迎え祝福します。新たな門出に相応しい式典となるよう職員一同で準備を進めてまいります。

光が丘福祉園

「地域交流会」として、音楽会や自主生産品の販売・バザーなどを年4回ほどおこない、毎回、近くの保育園児も、音楽と一緒に楽しんでいきます。販売やバザーも好評ですが、3月は、陶芸、絵画、習字の展示もおこないました。

くすのき園

開設15年目となる今年度は、生活介護事業と相談支援事業を両輪に、地域との協働、活動グループの枠に拘らない職員間の連携と事例検討の強化、新たな支援手法の導入を通じ、利用者の皆様の豊かな地域生活の実現を目指します。



小平福祉園 日本財団から 車両の寄贈

小平福祉園では4月から児童の通所事業を始めました。その児童の送迎バスとして日産キャラバンを日本財団から戴きました。これは、福祉車両助成事業に応募し、戴けることになったものです。新車両は児童18名と大人4名が乗車出来ます。3月22日に日本財団の

方がお見えになり、贈呈式が執り行われました。贈呈式では、大きなレプリカ・キーを施設長が受け取りました。関係の皆様へ感謝致しますと共に、新たな支援に邁進していきます。



寄贈された日産キャラバン

お知らせコーナー

4月

- 1日 入所式 (東堀切くすのき園)
- 4日 入所式 (八王子生活実習所)
- 5日 すぎな入園式・きらきら入園式 (すぎな愛育園)
- 17日 東立石さくらまつり参加 (葛飾地区)
- 22日 新入所者歓迎会 (九品仏生活実習所・中町分場)

5月

- 13・14日 南相馬市災害ボランティア
- 23～25日 施設公開 (駒沢生活実習所)
- 25日 理事会・評議員会

6月

- 4日 日帰りバスハイク (千代田区心身障害者福祉センターえみふる)
- 4・5日 第35回亀参まつり(亀有学び交流館)参加 (東堀切くすのき園)
- 15日 職員永年勤続表彰
- 17・18日 南相馬市災害ボランティア

ショーケース 自主生産品紹介 新商品

刺しゅう小物

世田谷区立烏山福祉作業所

TEL 03・3326・8001

工房 asi では、スウェーデン刺しゅうのメガネケースやブックカバー、ポーチなどのオリジナル製品を販売しています。色や柄のバリエーションも多く、あなたのライフスタイルにぴったりの一品もきっと見つかるはずです。あなたの「こんな製品があったらいいな」もお聞かせください。



200円～1,000円

さくら小倉(パウンドケーキ)

練馬区立北町福祉作業所

TEL 03・3559・0361



1つ600円

口の中でほのかに広がる桜の香。そのような香りを大事に焼き上げた、季節限定のパウンドケーキです。生地の中にはさらしあんが入って和風の味に仕上がっています。また、工房では「ハチミツスイーツのアイデアコンテスト」に応募し、アイデア賞を受賞しました。

武蔵野会後援会

社会福祉法人武蔵野会が経営する25施設と6つのグループホームの利用者のために、より良い環境や施設の充実・施設の円滑な運営などを、物心両面から支える組織として、武蔵野会後援会があります。皆様のご理解とご協力により、会の拡大をはかり、法人の運営基盤の確立を応援していますので、ご協力をお願い申し上げます。

〒193-0931

東京都八王子市台町 1-19-3

電話・FAX 042-626-9772